

質問1 本研修の内容の評価

4	役に立った	32人
3	まあ役に立った	12人
2	あまり役に立たなかった	1人
1	役に立たなかった	0人

質問2 評価の理由や感想、気がついたこと

- 1,19,31 日々の作業をこなすことに精一杯で見落としていたことがたくさんあった。  
2 利用者さんに伝えたい事が間違っていたと少し自信が持てた。  
3,44 通常業務のヒントになった。  
4,23 自分自身の考え方を見なおそうと思った。また、利用者の方への評価やこれまでの成長も見直す必要があると思った。  
5 目標工賃の金額のみ見ていた。就労支援の手法の一つと聞き、もやもやがはれた。  
6,16 障害者の働くということが再度学習できた。  
7,20 利用者の事をしっかり見れていない、支援できていないと改めて思った。  
8 得手不得手を見極めどのような支援を提供すればいいのか、生活支援も同様に考えさせられた。  
9,11 「仕事は厳しく、職場は楽しく」はまさにその通りだと思った。  
10 色々な視点から物事を考え、支援を考えることの必要性を感じた。  
12,17,21,27 もう一度作業環境を見直し、一人ひとりに合った環境にしていこうと思う。  
13,16 「無理だ」と考えることはしてはいけない。何かの手立てがあれば出来るようになると思えば支援を行いたい。  
14 働くことより日々の安定を一番考えていた。「働く」に力を入れることに良いイメージがなかったが、その人が、その人らしく働くために何が出来るのかを考える視点の大切さを知った。  
15 働くという意味は、障害があっても関係なくその環境を整えたりすることが重要だと感じた。  
18 作業所勤務は初めてであり、障害者が働くことの大変さが分かった。クリップ分けや歯磨きなど、簡単な作業の分析、仕事の観察などは驚き納得した。  
22,34 作業と人と環境について考えるきっかけとなった。  
23 例に映像があったり演習があったりで分かりやすかった。  
24 演習など具体的で、他の方の意見も聞けて色々な角度の視点を教えられた。  
25 普段から仕事上で耳にすることや感じていることを具体的に理解できた。  
26 実際の作業所で活かせる内容だった。  
28 普段からより観察、分析することで支援が丁寧になることが分かった。  
29 映像を見ながら考えたり伝えるのは難しいと思った。  
30,36 作業工程、手順を細かくすることの視点を持つということの大切さ、また気づくということが大切だと分かった。  
32 仕事について視野が広がった。  
33 時間が短い  
35 眠くなることなく、集中できた。動画を見て他の方の意見を聞くことが出来た。  
37 普段から環境面には目を向けていたつもりだが改めて大切に気付かされた。  
38 人だけを見て、働ける働けないを判断していないかということ。反省。  
39 職業リハの考えを改めて考えさせられた。  
40 「できない」中身を言語化し、自分の感覚だけでなくやり辛い部分を明確にすることでどのような支援が必要かわかる。  
41 雇用に繋がる利用者さんを支援しているわけではないので少し入りにくかったが、出来ることを見極め、最大限工夫をすることでその人の世界は広がるのだと改めて気付かされた  
43 環境を整えることの重要性  
45 日夜努力しているので、改めて聴く必要がないと思った。但し、企業側の人は聴講すれば良い。

質問3 今回得た気づきやこれから行っていく実践内容や具体的な行動

- 1,9 皆と同じペースや作業工程で出来なかったものを「出来ない」という判断をするのではなく、「出来ない」を「出来る」環境づくりをしたい。  
3 普段の作業でも工程を分割して行っていきたい。  
4 クリップを分ける話などを聞き、自分たちは気づかない間に色々なことをしているのだなと思った。  
5 以前ジョブコーチをしていたので徐々に思い出した。もう一度振り返りたい。  
7 今度は何ができないのか私がしっかり観察し、～～が出来るようにしていきたいと思う。  
10 支援方法を考えた時に色々な視点から考えていこうと思う。  
12,27,30 よく観察し、何かぎこちないことやおかしいことを発見したらよく考え、改善していきたい。  
13 支援をする時に何か違和感を感じた時は支援員にとってチャンスだと思う。相手をしっかりアセスして本人にとって良い支援が組み立てられると思った。  
14 頑張ります！  
15 利用者への再アセスメントが課題、問題を洗い出しニーズの把握に努める。  
16 しっかりとその人を見て働くことを大事にしていきたい。福祉からの働くという視点ではない話だったのでごくためになった。福祉に転職したので。  
17 人的環境、物的環境  
18 利用者一人ひとりを理解する。日常の動きを観察してできることできないことを知る。  
19 作業所内における環境の見直しと利用者の作業内容の見直しを含めた環境整備を行いたいと思う。  
20 仕事をする意味、価値を理解してもらえるよう伝えたい。働きやすい職場づくりを心がけたい。  
21 「意味のない仕事はない」心に響いた。  
22 作業が求めることについて考える。環境配慮。アセスメントをとる。  
23 作業工程を一つ一つ分け、利用者の作業提供を行うとともにどこの工程が難しいのか等を見てみたい。  
24 作業工程を作成する場合でも、自分たちでは気づきにくい工程箇所を織り込まないといけないと思った。見直しが必要。  
25 利用者さんを見ること、気づくこと、主観を入れずそのまま見て感じることを大切に改めて考えた。  
26 忙しさに、利用者さんをしっかり見れていなかった部分があった。作業には見極める力が必要で分かりやすい説明をしなければいけない。  
28 利用者さんだけでなく、働きやすい、楽しい職場環境づくりを考えていかなければいけないと思い、気づいたことを言葉にし改善していく柔軟性をもちたい。  
29 もう少し一つ一つをしっかりと教えていきたいと思う。  
31 一人一人の作業に対して出来ることを伸ばしてあげたい。  
33 作業工程を的確にしていく。仕事は厳しく職場は楽しく、メリハリのある指導員を目指していく。  
36 細かな工程があれば作業できる人の幅が増えることに気がついた。  
37 作業しやすい治具や方法を検討していきたいと思う。  
38 作業や環境を見直す。細分化して分かりやすく。  
40 利用者さんの作業範囲の拡大(今までやろうとしなかった作業へのチャレンジ)  
41 観察し、職場で意見交換の場を持ち、良い工夫をたくさん作っていきたい。  
43 利用者さんへの作業説明の仕方  
44 通所者への支援の仕方や、個別の能力をどう引き出すのかを考える良い機会だった。  
45 職業内容(種類)の検討が必要では。

質問4 質問3を実践し目標工賃を達成した結果として求めたいことや目標

- 1 「できる」環境づくりで、より高い目標工賃達成を目指したい。  
7 できないではなく、可能性の幅を広げて見ていきたいと思う。  
9 限りなくA型に近いB型にしたい。  
10,37 少しでも目標工賃を挙げられるように取り組む。  
12 こういった環境や作業の見直しの結果工賃UPに繋がるのか疑問だが、作業環境の見直しをすすめてほしい。  
14 市内の工場への施設外就労の支援をしているが、相手企業とより作業環境を整えるために話をする必要を感じた。環境を整えることで工賃UPに繋がれば…と思う。  
15,18 今はわからない。  
17 利用者さんが、不安や退屈に思えない仕事の場所づくり。  
19 利用者の更なる能力向上と仕事に対する意識の向上に繋がるようにしたい。  
22 一般就労  
23 常に工賃アップを目指したい。個々にマッチした仕事を提供したい。  
25 利用者さんの望む暮らしに近づけること、明るく生きていく為の仕事の大切さを考え、諦めないことを目標にしたい。  
26 利用者さんと同じ視点で一緒に取り組んでいきたいと思う。  
27 時給UP,ボーナス支給,働きがいのある仕事(ディーセントワーク)  
30 あれっと思うことを修正することで効率UPを図り、収入増加に繋がれば工賃もUP出来ると思うのでがんばりたい。  
31 やりがいをもって接したい  
36 成功体験をさす為の経験の積み重ねを本人にもってもらいたい。  
38 利用者さんが希望する働き方で働けるように。  
40 自信をもっていただいた上で次のステップへチャレンジする。働くことで少しでも喜びを得られるようにしていきたい。  
41 利用者さんの工賃UPはもちろん、生活しやすいように環境を整えていきたい。  
43 日々の作業スピード、高効率化していきたい。  
44 通所者の目標、やる気は工賃アップであると思うので、その人その人に合った作業を出来るだけ早く見つけることが重要だと思った。